

平成 21 年 5 月 7 日現在

研究種目：基盤研究（B）
 研究期間：2006 -2008
 課題番号：18310157
 研究課題名（和文） 南インド村落構造の変動：四半世紀後の再調査と GIS の応用研究
 研究課題名（英文） Structural Transformation in South Indian Rural Area: Resurvey after a Quarter Century with GIS Applications
 研究代表者
 水島 司（MIZUSHIMA, Tsukasa）
 東京大学・大学院人文社会系研究科・教授
 研究者番号：70126283

研究成果の概要：

南インド農村部における前回の調査から四半世紀を経過した今回の再調査の実施は、経済開放政策後のインド農村の変容の実態を世帯レベルの調査から解明すると共に、そこでの変化の意味を、19 世紀後半から作成された数百村の土地台帳の分析によって、長期の広域の変化のなかに位置づけた。

交付額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
18 年度	3,900,000	1,170,000	5,070,000
19 年度	3,000,000	900,000	3,900,000
20 年度	2,900,000	870,000	3,770,000
年度			
年度			
総計	9,800,000	2,940,000	12,740,000

研究分野：複合新領域

科研費の分科・細目：地域研究・地域研究

キーワード：インド、タミルナード、農村、環境、送金、農外雇用、移民、GIS

1. 研究開始当初の背景

1990 年代初頭からの経済開放政策の導入後、インドは大きく経済成長を遂げ、製造業はもちろん、IT を中心としたサービス産業の躍進が喧伝されている。その一方で、農村については、1960 -70 年代の緑の革命期と比較して研究が著しく減退し、農村部の変化についてははわずかな情報しか伝えられない状況となった。近年のインド農村研究では、解釈中心の傾向が強まり、地道な現地調査が軽視され、その結果、インド農村の実態や動向を確実に分析しうる情報が手薄となったからである。加えて、インドでの村落行政の簡素化のあおりを受けて、従来村落記録を維持作成してきた村落書記職が廃止された。その結

果、作物別作付面積や灌漑状況をはじめとする村落単位の基礎的な情報を得ることが極めて困難になってきている。信頼性の高いデータを研究者自身が収集し、蓄積していくことが不可欠である。本研究は、1970 - 80 年代の調査を背景にして、今回の調査の実施は、農村でどのような変化が生じ、それがインド全体の経済変動とどのように連関しているかを明らかにしたいということが大きな動機であった。

2. 研究の目的

本研究は、1979 - 82 年に実施した住み込み調査の再調査を、1860 年代からの当該

地域の数百村にわたる土地台帳の電算機分析と歴史地理情報システム分析（GIS）とに結びつけ、19世紀後半から現在に至る南インド農村社会の変化、とりわけ過去四半世紀の変化を解明し、今後の動向を見定めることを目的とした。

3. 研究の方法

本研究では、次の三つの方法を組み合わせた。第1は、前回調査をおこなった村について現地での追跡実地調査の実施である。これにより、土地所有規模構成、地主・小作・農業労働者関係、カースト間関係、農外雇用、国内外への移動、教育レベル、村落の生態環境などについてのデータを収集した。第2は、この四半世紀の変化を、より長期的な変動と結びつけるための、1860年代、90年代、1920年代の三つの時点の土地台帳分析である。第3は、これらの分析のための地理情報システム（GIS）の応用である。

4. 研究成果

本研究により、過去30年間の当該農村地域での変化に関し、都市と農村との連動性の強まり、地下水や耕地、労働力などの村内のリソースの頭打ち、村人の将来戦略にとっての村外での経済活動の規定性の強まり、近隣都市の急速な肥大化と連動したライフスタイルの急速な変化、高等教育施設の急速な拡大と村人の参加、海外への移民活動と村人の生活の連結、村内のカースト集団内および集団間の変化など、多くの現象を確認することができた。

GISに関しては、ラールグディ郡全域、およびタミルナード州全域のセンサス関係のデータを収集し、ベースマップと結びつけてGIS化を行った。土地台帳については、データのデバッグという作業を完了することができなかったが、それについては現在も継続中である。

これらの研究成果に関しては、いくつかの論文として、あるいはインドや韓国におけるインド関係の国際シンポジウムにおいて発表することができた。また、さらに分析を深めて、平成21年に実施予定の国際シンポジウムおよび英文による出版を行う予定である。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計17件)

水島司「インド農村の変化と都市」『現代社会の構想と分析』第6号 2008年7月 pp.87-99. 査読有り

MIZUSHIMA, Tsukasa, “Globaler Handel und binnenwirtschaftliche Entwicklung. Südindische Hafenstädte in der vorkolonialen Zeit”, *Hamburger Wirtschafts-Chronik*, Neue Folge, Band 7, 2007/2008, pp. 117-150. 査読有り

MIZUSHIMA, Tsukasa, KOTANI, Hiroyuki. and MITA, MASAHIKO, “Indian History from Medieval to Modern Periods: An Alternative to the Land System Centred Perspective”, *International Journal of South Asian Studies*, Vol. 1, 2008, pp.31-49. 査読有り

MIZUSHIMA, Tsukasa “Features of Economic Development in Early Modern India”, *Multiple Paths of Economic Development in Global History*, (Proceedings of the Symposium in Commemoration of the Executive Committee Meeting of the IEHA, November 8-9, 2008), Centre for Southeast Asian Studies, Kyoto University and Graduate School of Letters, Osaka University, 2009, pp.95-104. 査読無し

水島司「18世紀インド綿業と在地社会をめぐる考察」『明大アジア史論集』第13号 2009年3月, pp. 147-156. 査読無し

YANAGISAWA, Haruka, “The Decline of Village Common Lands and Changes in Village Society: South India, c.1850-2000”, *Conservation and Society*,

Vol. 6, No. 4, 2008, pp. 293-307. 査読有り

YANAGISAWA, Haruka, "Towards a New Historiography: Japanese Studies on the Economic History of Modern India," 『歴史と経済』 202, 2009, pp.36-45. 査読有り

柳澤 悠「現代インドの経済成長と農村の社会経済の変容」『経済研究』(千葉大学)第23巻3号 2008年 pp.283-314 査読無し

Karashima, Noboru, The Emergence of Medieval State and Social Formation in South India, *International Journal of South Asian Studies*, 1, 2008, pp.11-29. 査読有り

Karashima, Noboru, "Temple Land in Chola and Pandyan Inscriptions: The Legal Meaning and Historical Implications of *Ku in g d vad na*", *Indian Economic and Social History Review*, 45-2, 2008, pp.175-199. 査読有り

Karashima, N., Y. Subbarayalu, and P. Shanmugam, *Nagaram* during the Chola and Pandyan Period: Commerce and Towns in the Tamil Country A.D. 850-1350, *Indian Historical Review*, 35-1, 2008, pp.1-33. 査読有り

中村尚司「地球温暖化問題と持続可能性 虚構の商品から現実の市場へ」『農業と経済』2008年7月 第74巻第7号、pp.5-13. 査読無し

NAKAMURA, Hisashi, "On the Peace Process in Sri Lanka", in Nobuko Nagasaki, Hisashi Nakamura and Tosei Sano (eds.), *Afrasia Symposium Series, No. 1 (The International Context of*

Conflicts in the Middle East and Asian Approaches to Conflict Resolution: Proceedings of the First AFC International Symposium), 2007, pp.181-204. 査読無し

NAKAMURA, Hisashi, "Stored Water Management as an Asian Model of Conflict Resolution", in Yoshio Kawamura et al. (eds.), *Afrasia Symposium Series, No. 3 (Resources under Stress: Proceedings of the Third AFC International Symposium)*, 2008, pp. 131-144. 査読無し

中村尚司「スリランカにおけるラージャパクサ政権の成立と内戦の激化」『龍谷大学経済学論集』2008年3月 第47巻第5号 pp.109-124 査読あり

NAKAMURA, Hisashi, 'Sri Lanka's Civil War and Japan's Role', (*Peoples for Human Rights vol. 11*) Imadr, Tokyo, Japan, March 2009, pp.35-51. 査読無し

NAKAMURA, Hisashi, Sri Lanka in Engagement with a Distant and Close Friend: Violence and Peace or Commerce and Cooperation?, in Yoshiko Ashiwa (ed.), *Search for Peace in Sri Lanka Complexities of Culture, Politics and Society*, Center for the Study of Peace and Reconciliation, Hitotsubashi University, 2008, pp. 105-128. 査読あり

[学会発表](計 6件)

MIZUSHIMA, Tsukasa, "Features of Economic Development in Early Modern India, *Multiple Paths of Economic Development in Global History*", 8-9

November, 2008.

MIZUSHIMA, Tsukasa, "Records, Changes and GIS for Studies in Rural South India", Studying Village Economies in India: A Colloquium on Methodology, 21 December, 2008, Charsa, India.

MIZUSHIMA, Tsukasa, "Situating Indian Villages in the Long-term Trends", Indian Society and in 21st Century, 20 March 2009, 国立慶北大学, Daegu, Korea.

YANAGISAWA, Haruka, "Some Key Aspects in Understanding Historical Changes in South Indian Village Society: Landholding and Non-farm Job Opportunities", Studying Village Economies in India: A Colloquium on Methodology, 21 December, 2008, Charsa, India.

YANAGISAWA, Haruka, "Historical Changes in Village Common Lands in South India: Unirrigated Areas of Tamilnadu since the 1850s", Indian Society and in 21st Century, 20 March 2009, 国立慶北大学, Daegu, Korea..

KARASHIMA, Noboru, "Epigraphical Study of Ancient and Medieval Villages in the Tamil Country", Studying Village Economies in India: A Colloquium on Methodology, 21 December, 2008, Charsa, India.

〔図書〕(計5件)

水島司 『前近代南インドの社会空間と社会構造』東京大学出版会、2008年2月、290 pp.

水島司 『グローバル・ヒストリーの挑戦』(編著)山川出版社、2008年8月、194 pp.

長崎暢子、田中敏雄、中村尚司、石坂晋哉共編 『資料集；インド国民軍関係者証言』、研文出版、2008年3月、630 pp.
長崎暢子、田中敏雄、中村尚司、石坂晋哉共編 『資料集；インド国民軍関係者聞き書き』、龍谷大学国際社会文化研究叢書7、研文出版、2008年3月、412 pp.
NAKAMURA, Hisashi, *Social Development and Conflict Resolution as seen by an Unorthodox Economist*, Afrasia Working Paper No.39, Ryukoku University, Kyoto, March. 2009, pp.1-121.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

水島 司(MIZUSHIMA TSUKASA)
東京大学・大学院人文社会系研究科・教授
70126283

(2) 研究分担者

柳沢 悠(YANAGISAWA HARUKA)
千葉大学・人文社会科学部研究科・教授
20046121
中村 尚司(NAKAMURA HISASHI)
龍谷大学・経済学部・教授
50172424
辛島 昇(KARASHIMA NOBORU)
東洋文庫・研究員
10014466
南埜 猛(MINAMINO TAKESHI)
兵庫教育大学・大学院学校教育研究科・准教授
20273815